

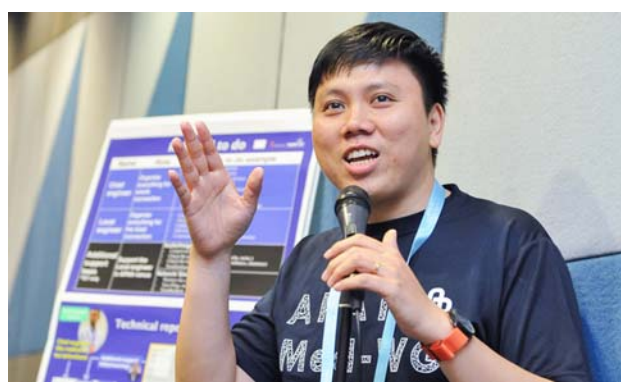



<p>【イベント名】 第45回 APAN 会議 エンジニアワークショップ</p>	<p>【概要】 今回のトレーニングプログラムは、APAN医療ワーキンググループで新しく組織されたローカルエンジニアチームによりプログラムが企画され、名称も遠隔医療エンジニアトレーニング(TET)と改められた。本ワークショップではこれまでもあったセッションレビューと新しいメンバーからの発表に加え、新しい企画として、チームごとの発表やクイズが実施された。熱い議論が繰り広げられ、有意義な経験となった。</p>
<p>【期日】 2018.03.29</p>	
<p>【会場】 バイオポリス マトリックス会議場 (シンガポール), 九州大学病院 (日本), マラヤ大学 (マレーシア), ソウル大学ブンダン病院 (韓国), サンカーラ・ネスララヤ病院 技師自宅; チェンナイ (インド), アジア消化器センター (インド), マヒドン大学シリラ病院 (タイ), パタン健康科学専門学校 (ネパール), ネパール教育研究ネットワーク (ネパール)</p>	
	
<p>モニタに表示される接続施設。</p>	<p>メイン会場で発表を行うMr. Satyanarayana。</p>
<p>撮影場所：ネパール教育研究ネットワーク</p>	<p>撮影場所：バイオポリス マトリックス会議場</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>メイン会場でコメントするMr. Minh。</p>
<p>撮影場所：ネパール教育研究ネットワーク</p>	<p>撮影場所：バイオポリス マトリックス会議場</p>
	
<p>メイン会場の様子。</p>	<p>参加者の集合写真。</p>
<p>撮影場所：バイオポリス マトリックス会議場</p>	<p>撮影場所：バイオポリス マトリックス会議場</p>